教職課程の情報公開(武蔵野学院大学)

・教員養成の理念や養成する具体的な教員像

本学の学則第1条において、「教育基本法・学校教育法及び建学の精神に基づき、教育を社会 との関連において捉え、他者理解を根底においた創造的な知性と豊かな人間性、職業及び生活 との関連を重視し、勤労を重んずる態度及び高度情報化社会に対応できる諸能力をそなえ、我 が国及び国際社会の発展に寄与する主体性のある人材の育成を目的とする」としており、教員 養成・構想に合致するものと考えている。

- ・教職指導に係る学内組織などの体制
- (1) 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行なう委員会等
- ① 委員会の名称 教職センター<教育実習担当>
- ② 委員会等の構成員(役職・人数等)

教職センター長(1名)

副センター長(1名)

センター委員 (1名)

事務職員 (2名)

③ 委員会等の運営方法

3年次に行なう「教育職員基礎学力試験」の問題作成及び試験の採点・評定を中心とするとともに、外部機関による「英語検定試験」などに関する学生の状況等も含め、当該学生が、教育実習に適格かどうかに関する資料を「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」に提出・審議し実習参加者を決定する。

また、実習生の評価に関して、教職センターで基礎資料を作成し、「武蔵野学院大学教育実習 連絡委員会」で決定する。

- (2) 大学外の関係機関(例:都道府県及び市区町村教育委員会など) との連絡調整等を行な う委員会等
- ① 委員会の名称

教職センター

② 委員会等の構成員(役職・人数等)

教職センター長(1名)

副センター長(1名)

センター委員 (1名)

事務職員 (2名)

③ 委員会等の運営方法 埼玉県教育委員会などより指摘等があった場合、対応する。

・教員養成に携わる専任教員の経歴、専門分野、研究実績など

佐々木隆			業績・経歴
一 、 /17年	博士(英文	英米文学史	〔著書〕
	学)	英書購読	・『こどものための英米文学』(武蔵野学
		国際文化交流	院大学佐々木隆研究室、平成22年2月)
		英語科教育法 I	・『文化交流から文化外交へ』(イーコ
		英語科教育法Ⅱ	ン、平成 22 年 10 月)
			・『英語教育の行方』(イーコン、平成 23
			年 5 月)
			・『日本文化ブームと国際文化交流』(多
			生堂、平成24年4月)
			・『江戸時代のシェイクスピア受容』(イ
			ーコン、平成 25 年 10 月)
			・『大学教育の行方』(武蔵野学院大学
			佐々木隆研究室、平成28年8月)
			・『イギリスの歴史を知るための 50 章』
			(共著、明石書店、平成28年12月)
			・『国際文化交流の行方』(前編)(後
			編) (多生堂、平成 29 年 10 月)
			・『ロボット100年 文学・マンガ・アニ
			メ・映像』(武蔵野学院大学佐々木隆研究
			室、平成30年4月)
			・『異文化コミュニケーション』(前編)
			(後編)(多生堂、平成30年8月)
			・『田園のイングランド』(共著、彩流
			社、平成30年8月)
			・『国際文化交流から文化外交へ』(武蔵
			野学院大学佐々木隆研究室、平成30年9
			月)
			[学術論文]
			・「日本文化ブームからジャパン・クール
			まで一日本研究の行方」(『日本の中の異 文化』第7号、平成22年11月)
			・「ポップカルチャーの行方―日本から発
			信する魅力―」(『比較文化史研究』第 18
			号、平成 29 年 3 月)
			[教育実践記録等]
			・「ファンタジー文学の行方―文学と科
			学」(『日本英語文化学会会報』第4号、
			平成22年6月)
			・「教員免許状更新講習と英語教材研究」
			(『武蔵野教育研究』第3巻第2号、平成
			28年2月)
			・「英語教育の現状報告―授業の実践例か
			ら一」(『武蔵野教育研究』第3巻第4
			号、平成 29 年 2 月)
			・「英語科教育法に関する一考察―実践例
			と今後の展開」(『武蔵野教育研究』第3
			巻第6号、平成29年4月)
			・「教育実践例 教材に関する学生の反応
			と指導一英書講読」(『武蔵野教育研究』
			第3巻第8号、平成29年6月)
			・「教育実践例 教材に関する学生の反応
			と指導一国際文化交流一」(『武蔵野教育
			研究』第3巻第9号、平成29年7月)

			・「教育実践例 教材に関する学生の反応
			と指導一英米文学史一」(『武蔵野教育研
			究』第3巻第10号、平成29年8月)
			・「『英語文学』に関する一考察―実践例
			と今後の展開─」(『武蔵野教育研究』第
			3 巻第 14 号、平成 29 年 12 月)
			・「イギリス文化の源流:ケルト文化の取
			り扱いについて一高等学校から大学へ一」
			(『新教育課程研究』第3号、平成30年5
			月)
			・「アメリカ文化の根底:『人種のるつ
			ぼ』から『サラダボウル論』―中学校・高
			等学校から大学へ―」(『新教育課程研
			究』第4号、平成30年6月)
			・「アメリカの源流:American Indianは
			どう扱われて来たか中学校・高等学校か
			ら大学へ―」(『新教育課程研究』第5
			号、平成 30 年 7 月)
			タ、十成 30 平 1 月 [その他]
			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
			・教員免許状更新講習講師(平成 21 年度
			~現在)
			・NPO 法人子ども大学かわごえ講師(平成
			29年度)
			・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 子ど
			も大学さやま講師(平成 25 年度、平成 28
			年度)
			・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 コラ
			ボレーション講座講師(平成 30 年度)
本多周爾	博士 (法学)	国際コミュニケーション	〔著書〕
			『発展と開発のコミュニケーション政
			第』(武蔵野大学出版会 平成 18 年)
			策』(武蔵野大学出版会、平成 18 年) ・『租代社会の絵点』(北莱・文化書屋博
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博 文社、平成 19 年)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティ
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年) [学術論文]
			・『現代社会の論点』 (共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』 (春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能
			・『現代社会の論点』 (共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』 (春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」 (『武蔵野学院大学日本総合研究
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成 21 年 3 月) ・「グローバル化に関する若干の考察」
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成19年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成22年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成29年)[学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月) ・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年)[学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月) ・「グローバル化に関する若干の考察」 (『武蔵野学院大学院紀要』第3号、平成22年4月) ・「台湾における国際放送と放送の国際
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』 (春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月) ・「グローバル化に関する若干の考察」 (『武蔵野学院大学院紀要』第3号、平成22年4月) ・「台湾における国際放送と放送の国際 化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成19年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成22年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成29年)[学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年)[学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジ
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成19年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成22年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成29年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジャーナリズム&メディア』日本大学法学部
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジャーナリズム&メディア』日本大学法学部新聞研究所第4号、平成23年3月)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成19年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成22年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成29年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジャーナリズム&メディア』日本大学法学部
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジャーナリズム&メディア』日本大学法学部新聞研究所第4号、平成23年3月)
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年)[学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月)・「グローバル化に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジャーナリズム&メディア』日本大学法学部新聞研究所第4号、平成23年3月)・「台湾の政治変動に伴う新聞メディアの
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コニニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年)[学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第 3 号、平成 21 年 3 月)・「が上に関する若干の考察」(『武蔵野学院大学院紀要』第 3 号、平成 22 年 4 月)・「武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第 8 号、平成 23 年 3 月)・「変貌する台湾の放送システム」(『ジャガのよメディア』日本大学法学新聞の政治変動に伴う新聞メディアの変容」(『武蔵野学院大学日本総合研究所
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティ ・『古湾 メディア・政治・アイデンティ ・『国際 メディア・ションの政治学』 ・『国際ユニケーションの政治学』 ・『国際ユニケーションの政治学』 ・『国際ユニケーションの政治学』 ・『大学術論文] ・『大学大学日本総のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで
			・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成19年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティ ・『台湾 メディア・政治・アイデンティ』(春風社、平成22年) ・『国際ユニケーションの政治学』 (春風社、平成29年) [学術論文] ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」(『武蔵野学院大学日本総合研究の記要』第3号、平成21年3月)・「が、と関する若干の考察」(『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月)・「台湾における国際放送と放送の国際に、で、は、選手では、で、は、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、

			「ナショナル・アイデンティティを再考
			する一日本からの視点を中心に」(『武蔵
			野学院大学大学院紀要』第6輯、平成25
			年4月)
			・「いま ODA に求められているもの-日本
			の国際的な役割」(『武蔵野学院大学日本
			総合研究所紀要』第10輯、平成25年4
			月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
			「文化帝国主義という言説」(慶應義塾
			大学法学研究会『法学研究』第86巻第7
			_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			号、平成25年7月)
			・「ODAから見た日本の国際貢献」(『武
			蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第
			11 輯、平成 26 年 3 月)
			「衛星放送とインターネットで変わる国
			際コミュニケーション」(『武蔵野学院大
			学大学院研究紀要』第7輯、平成26年3
			月)
			・「プロパガンダ:政治宣伝と説得のコミ
			ュニケーション」(『武蔵野学院大学大学
			院研究紀要』第8輯、平成27年3月)
			・「ネイション、ナショナリティ、そして
			ナショナリズム」(『武蔵野学院大学日本
			総合研究所研究紀要』第 12 輯、平成 27 年
			3月)
			「戦争をめぐるメディア報道とプロパガ
			ンダ」(『武蔵野学院大学大学院研究紀
			要』第9輯、平成28年3月)
			・「東アジア情勢とナショナリズム」『武
			蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』
			(第13輯、平成28年3月)
			「国際コミュニケーションに影響を与え
			るいくつかの要因」(『武蔵野学院大学大
			学院研究紀要』第11輯、平成30年3月)
輪嶋直幸	保健体育学士	スポーツ 2	〔その他〕
		スポーツと健康	・「ねんりんピック全国大会茨城」(ひた)
		ボランティア 1	ちなか市総合運動公園体育館、NHK 文化セ
		ボランティア 2	ンター・日本咀嚼学会・ねんりんピック事
			務局、平成 19 年 11 月)
			・「仁淀川町健康福祉大会 私の満点健康
			法」(仁淀川町立中央公 民館、仁淀川町
			社会福祉協議会、平成19年11月)
			・「健康フォーラム 21 仙台国際センタ
			一 脳いきいき体操」(宮城県国民健康保
			険団体連合会、平成 19 年 11 月)
			・「いのちへ・いきいきフェスタ 一戸町
			民文化センター 脳いきいき体操」(岩手
			県一戸教育委員会、平成19年11月)
			・「ねんリンピック全国大会宮城大会」
			(NHK文化センター・日本咀嚼学会・年
			輪ピック事務局、平成 24 年 10 月)
·		<u></u>	

青木雅幸	Master of	ビジネス英語	[著書]
	Arts in	英語科教育法Ⅲ	[Have a Nice Day! Talking about
	TESL/TEFL	教育方法・技術	Daily Activities』(南雲堂、平成 19
			年)
			• [English in 30 Seconds -Award
			Winning TV Commercials from the Cannes
			Festival』(南雲堂、平成 21 年) ・『The Globalized Business World』
			(成美堂、平成 23 年)
			• 『Inspirational Stories from Around
			the World』(南雲堂、平成 28 年) 〔教育実践記録等〕
			 「Unique Cultural and Linguistic
			Aspects of an Australian TV
			Commercial: "Un-Australian" Lamb
			Promotion Campaign 」(『日欧比較文化 研究』第 9 号、平成 20 年 4 月)
			• 「Utilizing Australian TV
			Commercials as a Teaching Resource
			in ESL and Cross-cultural Studies] (『武蔵野学院大学研究紀要』第 10 輯、
			平成 25 年 4 月)
			• 「Analyzing "The Critics' Choice
			2012: Anti-smoking TV Commercial Reel" as a Recommended Free Educational
			Resource Developed by ANYPAT」(『武蔵
			野学院大学研究紀要』第13輯、平成28年
			3月)
			 "Methods and Techniques for
			Utilizing Commercials as Teaching
			Materials"(『武蔵野学院大学大学院研
			究紀要』第11輯、平成30年3月)
			[その他]
			• 教員免許状更新講習講師
齋藤英男	教育学士	教職概論	〔学術論文〕
		学級経営論	・「書道(書くこと)を通した心理的効果
		生徒指導論(進路指導を含む)	に関する考察」(『武蔵野学院大学研究紀
		教育実習 I	要』第9輯、平成24年)
		教育実習Ⅱ	「教育におけるナラティブ活用に関する
		教育実習Ⅲ	研究」の研究経過と教員養成」(『武蔵野
			学院大学日本総合研究所研究紀要』第10
			輯、平成 25 年)
			・「日本の書道文化についての考察」
			(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀
			要』第 12 輯、平成 27 年) ・「教育におけるナラティブ活用の研究-
			・「教育におけるケブケイノ活用の研究― 教員養成について」(『武蔵野学院大学日
			本総合研究所研究紀要』第11輯、平成26
			年)
			・「幼児・児童の筆跡による性格・行動と
			の関連の考察」(『武蔵野学院大学研究紀
			要』第12輯、平成26年)
			〔その他〕
			・「日本の書トルン展」、平成23年5月
			・「筆跡診断を活用した学生相談」(日本
			カウンセリング学会埼玉大会、平成 25

	T		
			年) ・「第 32 回 読売書法展」、平成 27 年 8 月
			・「第 43 回 日本の書展」、平成 27 年 6 月
			・埼玉県教育カウンセラー協会相談役 ・教員免許状更新講習講師
Jeffrey Trambley	修士(音楽)	Oral English Advanced Oral English Communication English Skills 1 Communication English Skills 2 Communication English Skills 3 Communication English Skills 3 Emmunication English Skills 4 英語科教育法IV	「著書」 ・『ネイティブあたまで・何でも・言える 英会話フレーズ辞典』(新星出版社、 平成 22 年) ・『Magic Hat: English Course II』(共著)(教育出版株式会社、平成 20 年) 〔学術論文〕 ・An Initial Assessment of Student iPad Usage at a Japanese University 大学生の iPad 使用法に関する一考察(『武蔵野学院大学研究紀要』 第10 輯、平成 25 年 4 月) ・"Fostering Learner Autonomy and Motivation Utilizing an Online Reading Journal in Google Drive"(共著)Published in the Conference Proceedings of ACEI(Annual Conference on Education Innovation)pp326-330 11/27/2013 〔その他〕
			• 教員免許状更新講習講師
鈴木陽子	修士(法学)	地域文化事情 6	・『公法基礎入門[改訂増補第2版]』 (共著、八千代出版、平成27年4月) ・『ファンダメンタル 法学・憲法』(共著、税務経理協会、平成25年3月) 〔学術論文等〕 ・「アメリカ合衆国大統領の議会との関係においてsigning statement が果たす機能の可能性」(『研究報告人文系編』芝浦工業大学、平成29年3月) ・「権力分立と執政―執政に対するコントロールの可能性の検討」(『憲法研究』第48号、平成28年6月) ・「スポーツルールにおける安全・危機管理ルールについて」(『スポーツの馬術競技における安全・危機で理ルールについて」(『スポーツの景、第12世界大学現代社会総合研究所、平成28年6月) ・「執政説と法律執行説の差異―日本国憲法における執政の位置づけを中心として、『武蔵野学院大学研究紀要』第12輯、平成27年4月) ・「日本における「執政権」の導入と権力分立論一学院における「執政権」の導入と権力分立の配分について」(『武蔵野学院大学研究紀要』第11輯、平成26年5月)

・「統治行為論における権力分	立の位置づ
	要』第 10
輯、平成 25 年 4 月)	
〔教育実践記録等〕	
・「権力分立(三権分立)論を	めぐる研究
と問題の整理」(第 21 回東洋 2	大学公法研
究会、平成 25 年 6 月)	() 4/4/9/
・「日本における権力分立論の	武協 劫心
権の導入を中心として」(第 2	3 回果洋大
学公法研究会、平成 25 年 9 月)	
・「権力分立論における『政治	』概念」
(第 26 回東洋大学公法研究会、	平成 25 年
12月)	
・「『執政』の概念に関する学	説の整理」
(第 31 回東洋大学公法研究会、	_
5月)	1 /9% 20 1
	00 日本沙
・「執政説の成立と展開」(第	
大学公法研究会、平成 26 年 7 月	
・「日本国憲法における執政作	
執政概念」(第 35 回東洋大学公	公法研究
会、平成 26 年 12 月)	
・「行政における執政概念」(第 220 回憲
法研究会、平成27年5月)	
・「権力分立と執政・執政に関	する見解の
検討」(第 113 回憲法学会、平	
月)	70人21 午 0
	A 42.166 AA
・「スポーツルールにおける安	
理システム」(東洋大学現代社	
所、「スポーツの現代的課題」	第1回研究
会、平成 27 年 12 月)	
・「アメリカ大統領の権限行使	に関する協
働の可能性─signing statemen	tsの検討」
(第49回東洋大学公法研究会、	.> =
7月)	1 // 20 1
[その他]	
	よみてかか
・「権力分立(三権分立)論を	
と問題の整理」(『東洋法学』	第 57 巻 2
号、平成 26 年 1 月)	
・「権力分立論における権力分	割と均衡―
統治行為論を考えるための問題	意識と先行
研究」(『東洋法学』第 56 巻	3 号、平成
25 年 3 月)	
和田賢治 博士 (学術) Advanced English Writing [著書]	
「	世紀の謎玄
・『グローバル政治理論のため	マノ 30 冊月
(共著、人文書院、平成 23 年)	
・『国際関係論の生成と展開	
との対話』(共著、ナカニシャ	出版、平成
29 年)	
• "Microfinance: empowering	women
and/or depoliticizing povert	
Julian Elisa and Adrienne Ro	
eds., Handbook on the Intern	
	at 1011a1
Political Economy of Gender,	W D1 1
Cheltenham and Northampton,	MA, Edward
7	

			Elgar Publishing,2018(共著、平成30
			年)
			〔学術論文〕
			・博士論文「武力紛争後の女性のニーズに
			対する支援と統治がないがいいがあり
			ル・ガヴァナンスによるリスク管理をめぐ
			って」(神戸大学、平成22年3月)
			・「統治の技術としてのジェンダー訓練」
			(『国際協力論集』第17巻第2号、平成
			21年10月)
			・「グローバルな生政治の中の「女性」
			カンダハールにおけるカナダの復興支援チ
			ームを事例に」(『国際政治』第 161 巻、
			平成 22 年 8 月)
			・「病/ウィルスをめぐる恐怖、安全、統
			治 ブッシュ政権の大統領緊急救済計画を
			事例に」(『国際協力論集』第20巻第1
			号、平成 22 年 8 月)
			「アフガニスタンの農村女性に対するカ
			ナダの自立支援プログラム 統治技術とし
			てのエンパワーメント」(『カナダ研究年
			_ : -
			報』第32号、平成24年9月)
			・「平和構築への女性の関与 ジェンダー
			主流化のパラドックス」(『平和研究』第
			43 号、平成 26 年 10 月)
			〔その他〕
			York Centre for International and
			Security Studies (York University,
			Canada)客員研究員
			・インタビュー"Conversations with
			Ronni Alexander: The Popoki Peace
			Project: Popoki, What Color is Peace?
			What Color is Friendship?"
			International Feminist Journal of
			Politics, Vol. 13, No. 2, 2011
			・教員免許状更新講習講師(平成 28 年~
			現在)
角田牧	理学修士	情報処理入門	[教育実践記録等]
角田权	理子修工	情報処理人門	
			・「武蔵野学院大学における 2010 年度新
			入生の計算能力」(『武蔵野学院大学研究
			紀要』第9輯、平成24年6月)
梁媛淋	博士 (学術)	中国語I	〔学術論文〕
		中国語Ⅱ	・博士論文「幕末大名家の身分構造」(東
		中国語Ⅲ	京大学、平成28年6月)
			・「幕末萩毛利家の身分構造」『年報地域
			文化研究』第17号、平成26年3月
			・「幕末尾張徳川家の身分構造」『年報地
			域文化研究』第18号、平成27年3月
			・「十九世紀前半彦根井伊家の身分構造」
			『日本研究』第53集、平成28年6月
			・「『遊清五録』に関する一考察―幕末に
			おける漢文の実用ある役割―」(『武蔵野
			学院大学日本総合研究所研究紀要』第14
			輯、平成29年3月)
			・「『遊清五録』に関する一考察―漢文に
			よる筆談について一」(『武蔵野学院大学
		<u>l</u>	ひつ手吹について] (『以殿却于阮八十

			日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月) 〔その他〕 ・「文久三年(1863)八月十八日の政変と 京都守護職」(東アジア若手研究者合同研 究発表会、平成 21 年) ・翻訳 保谷徹「国外所藏日本相关史料之 调查、收集及研究资源化之研究―与日本学 士院 UAI 相关事业之关联性―」(第五回東 亜細亜史料研究編纂期間国際学術会議―東 京大学伊藤国際学術研究センター会議『アジア歴史資料の編纂と資源化』東京大学史 料編纂所、平成 28 年 11 月 7・8 目)
高田久実	修士(法学)	現代社会論 1(日本国憲法を含む) Advanced English Reading English Reading Integrated English	『法学概論』(共著、慶應義塾大学出版会、平成 27 年 4 月)「明治平期における"紙幣"」の法秩序一断罪無正条条例の規範形成機能一」(共著、慶應義塾大学出版会、本成 28 年 9 月)・「明治無正条条例の規範形成機能一」(上海 28 年 9 月)・「明治無正条条例の規範形成機能一」(日本 28 年 9 月)・「明治における司徳大と課題』(日本 28 年 9 月)・「日田 28 年 9 月)・「日田 28 年 9 日)・「日田 28 年 9 日)・「日田 28 年 9 日)・「日田 28 年 9 日)・「日田 28 年 9 日)・「持己 28 年 9 日)・「持己 28 年 12 月)・「持己 28 年 6 月)・「別本 28 年 6 月)・「別本 29 年 2 月・『Who Led the Modernization of Japan during the Early Meiji Period?"(共著、平成 29 年 3 月)「教育実践記録ける「紙幣」の法規範の上、『本成 29 年 3 月)「教育実践記録ける「紙幣」の法規範に上、第 10 輯 1 年 2 年 7 月・「刑法 27 年 7 月・「刑法 27 年 7 月・「刑法 28 年 11 月・「戦後の政 27 年 7 月・「刑法 28 年 11 月・「東文 29 年 7 月・「東文 28 年 11 月・「東京 28 年 11 月・「東京 28 年 11 月・「東京 29 年 7 月・「東京 21 回研 28 年 11 月・「東京 21 回示会、平成 29 年 7 月・「東京 21 回示会、下、対明 26 年記 21 日本法 21 日本 21

			史料説明会、平成30年10月
			〔その他〕
			・法務省法務史料展示室 展示・整理作業 補助員(平成24年4月~現在に至る)
			・「法務史料展示室だより『法史の玉手
			箱』 編集・刊行補助員(平成 25 年 4 月
			~現在に至る)
			・「Q&A (裁判所構成法と明治政府の裁判
			所制度)」(共著、『法史の玉手箱』 第
			10号、 法務省大臣官房司法法制部 法務
			史料展示室だより第 41 合、平成 28 年 7 月)
			・法制史学会『法制史研究』編集・刊行補
			助(平成 29 年 4 月~現在) ・「法務史料展示室が伝える「司法の近代
			化」」(「法務史料展示室開室満 20 年に
			あたり 、共著『司法法制部季報』第139
			号、平成 27 年 6 月)
			・「Q&A「『刑事問題(天)』・『刑事答
			案(地)』と明治初期における刑事法の教
			授」(共著、『法史の玉手箱』第 13 号、
			法務省大臣官房司法法制部 法務史料展示
			室だより第44号、平成29年7月)
			・「河野敏鎌」法務省法務史料展示室企画
			展示『明治黎明期の司法官たち』、平成 26 年 7 月
			サイカ ・「関口豊 法務省法務史料展示室企画展
			示『明法寮の組織と役割』、平成28年7
			月
			・「江戸時代における幕府職制と『板倉政
			要』にみる初期の裁判」法務省法務史料展
			示室企画展示『前近代の『司法資料』』、
			平成 29 年 7 月
			・法制史学会 70 周年記念事業『法制史学
			会70周年記念若手論集』編集委員(平成
			30 年 1 月~現在) ・龍谷大学 矯正・保護総合センター嘱託
			研究員(平成30年4月~現在)
			・ 「民法典論争」 (法務省法務史料展示室 ***********************************
			『明治 150 年記念特集展示』、平成 30 年 7
			月)
林大輔	修士 (法学)	English Writing	〔著書〕
	修士(アメリ	Communication English	・「EUの対外政策における規範と限界対
	力研究)		日・対中外交を中心に」(共著、兪敏浩、
			今野茂充編著『東アジアのなかの日本と中
			国 規範・外交・地域秩序』、晃洋書房、 平成 28 年)
			・「集団的自衛権と安全保障」(共著、神
			野潔編著『教養としての憲法入門』、弘文
			堂、平成 28 年)
			・「イギリスと東アジア 英中友好通商航
			海条約交渉を中心に、1945-1948年」(共
			著、細谷雄一編著『戦後アジア・ヨーロッ
			パ関係史 冷戦・脱植民地化・地域主
			義』、慶應義塾大学出版会、平成 27 年)

- ・共訳『リベラルな秩序か帝国か アメリカと世界政治の行方 上・下』第2章~第5章担当(勁草書房、平成24年) [学術論文]
- ・「EU・中国関係の制度的枠組 法的基盤・重層的対話枠組・パートナーシップ」 (『日本 EU 学会年報』第38号、平成30年5月)
- ・「対立と協調のはざまで――欧州の対中 認識:EUとドイツ・イギリスを中心に」 (日本国際問題研究所編『中国の対外政策 と諸外国の対中政策』、平成30年3月)
- ・「EU・中国関係の 40 年――経済・通商 関係から包括的な戦略的パートナーシップ の形成へ、1975 年-2015 年」 (EUSI Commentary, Vol. 58、平成 27 年 8 月)
- ・「第二次世界大戦期の香港問題、一九四 一年一一九四五年 帝国・脱植民地化・降 伏受理をめぐる英米中関係」(『法学政治 学論究』第92号、平成24年3月)
- ・「イギリスの中華人民共和国政府承認問題、一九四八年-一九五〇年 戦後アジア・太平洋国際秩序形成をめぐる英米関係」(『法学政治学論究』第76号、平成20年3月)

[その他]

- ・翻訳「民主主義国家に挑戦するシャープ パワーという毒牙」(『中央公論』2018 年 7月号)
- · "TOEIC Bridge at Musashino Gakuin University: Ongoing Development of the English Program" (共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月)
- ・書評「廉舒『中国外交とプラグマティズム 一九五〇年代における中国の対英政策』(慶應義塾大学出版会、2016年)」 (『中国研究月報』第71巻第10号、平成29年10月)
- "How Public Opinion on the North Korean Threat Has Influenced Japanese Foreign Policy," Asia Maior, Vol. XXVII. 2016
- ・書評「渡辺昭一編著『コロンボ・プラン 戦後アジア国際秩序の形成』法政大学出版 局、2014年」(東京財団「政治外交検証」 『外交史ブックレビュー』第57号、平成 26年8月)
- ・「EU・中国関係の中期的戦略計画と中国の対EU政策」(EUSI Commentary, Vol. 36、平成26年7月)
- ・書評「渡邉昭夫編『アジア太平洋と新しい地域主義の展開』千倉書房、2010年(東京財団「政治外交検証」)」(『外交史ブックレビュー』第27号、平成22年12月)

			・教員免許状更新講習講師(平成 30 年~ 現在に至る)
宮本一史	教育学士	教育心理学 教職実践演習(中·高)	[著書] ・『武蔵野短期大学幼児教育学科 平成 27 年度 実習の手引き』(共著、武蔵野短期大学幼児教育学科、平成 27 年 3 月) [その他] ・武蔵野短期大学学長 ・埼玉県狭山市振興審議会委員 ・東京都小平市教育委員会学校経営協力者 委員 ・埼玉県狭山市福祉審議会委員 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
野村和	修士(教育学)	教育方法教育課程総論	「著書」 ・『読書教育の方法』(共著、学文社、平成27年) ・『社会教育の学習論―社会教育がめざす人間像を考える」(共著、学文社、平成28年) 「学術論文〕 ・「新たな学力観と行動基準による教育の変容』(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第10輯、平成25年) ・「高等女学校の教育内容の変遷に関する研究に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第28輯、平成26年) ・「成人教育におけるナラティブアプローチの実践」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第11輯、平成26年)・「第二地方部における高等女学校の普及過程の分析」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年)・「日本における『児童の権利条約』批准以降の取り組みと課題に関する考察」(『武蔵野党院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年)・「ラジオが提供した育児関連番組に関する考察」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32輯、平成30年)・「ラジオが提供した育児関連番組に関する考察」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32輯、平成30年)・「ラジオが正教師の本質――研究の活用から実践へ』(のECD教育研究革新センター編著、明石書店、平成25年)・訳『幼児教育入門――ブルーナーに学ぶ』(サンドラ・シュミット著、明石書店、平成26年)・狭山市社会教育委員・教員免許状更新講習講師
伴好彦	修士(体育学)	スポーツ 1	(著書) ・『健康づくりのサイエンス』 (共著、サンウエイ出版、平成 13 年) 〔学術論文〕

(国大政政権) (表表、『スネー研究』 第2 巻、平成15 年) ・「近城康におけるカーピングターン指導プログラム」(日本スキー学会誌】第16 巻、平成17 年) ・「遊康の部活動時に発生する政備コンダクタンス以に関する研究」(共著、『スキー研究』 第1 巻、平成21 年) ・「アルペンスキー用ヒールフリースラップブレートの開発』(共著、『スキー研究』 第1 巻、平成26 年) ・「アルペンスキー用ヒールフリースラップブレートの開発』(共著、『スキー研究』 第1 第 2 転 来				・「回転競技練習における Inclined-Pole
第2巻、平成15年) ・「低速度におけるカービングターン指導 ブログラム」(『日本スキー学会誌】第15 巻、平成17年) ・「極徳の節活動時に発生する皮膚コンダ クタンス反応に関する研究」(共著、『武 瀬野類大学が完和要】第26種、平成28年) ・「アルベンスキー用ヒールフリースラッ ブプレートの開発」(共著、『スキー研 ・「教育実践は繰ぎ)・「幼児教育における組立体機(stunts p) 「				
・「既康康におけるかーピングターン指導 プログラム」(『日本スキー学会誌』第 15 巻、平成 17 年) ・「職域の協活動時に発生する皮膚コング クタンス反応に関する研究」(集著、『武・ で				
一方の 1				
表 平成17年) - 「随意の婚活動時に発生する皮膚コングククンス反応に関する研究」(供著、『武 機勢動計大学研究展型」第26 軽、平成24年) - 「アルベンスキー用ヒールフリースネラップブレートの開発」(共著、『スキー研究』第11巻、平成26年) ・ 「カ児教育における顔立体機 (stunts pyromid) 指導に関する研究」(国際効政教育学会第38 回大会、平成19年、『武成 野短期大学究紀要』第22 輯、平成20年) ・ 「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response](日本生理学会第88 回大会、平成23年) ・ 「Inclind - Polo を利用した回転競技トレーニング - Short Pole との比較 - 」(日本大学学の体型とグイエット行動の推移、『よ波部授期大学研究紀要』第28 稿、平成28 年) ・ 「本学学生の体型とグイエット行動の推移」(『よ波部授期大学研究紀要』第36 編、平成26 年) ・ 「スポーツに対する可研究(10 」(「直接野短期大学研究紀要』第36 編、平成26 年) ・ 「カ州の基本的動作と指導用語に関する研究」(『直接野短期大学研究紀要』第372 編、平成30 年) ・ 「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30 編、平成30 年) ・ 「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究』(『武蔵野短期大学研究紀要』第32 編、平成30 年) ・ 「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野知大学研究紀 要』第32 編、平成30 年) ・ 「本学校主の体理・研究記書師 ・ 表見の批決・表記を記録するにの仕ずらを作的自己技術の他) ・ 教員和計工・一学権選挙を表し、「本財団保持研究」(共著、『大財団保持研究』) ・ 「提出における臨床の生活の発生に関する健康の検討・」(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持の本学研究)・ 「持定記述学の表別、「大財団保持研究」(共著、『大財団保持研究』(共著、『大財団保持研究)・ 「持定記述学の表別、「大財団保持研究」(共享、『大財団保持研究』(共享、『大財団保持研究)・ 「持定記述学の表別、「大財団保持研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「特別記述学研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「特別記述学研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「特別記述学が表別を表別を表別に対し、「大財団保持研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「対し、「対し、「大財団保持研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「対し、「大財団保持研究」(共享、「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究」(「大財団保持研究)・ 「大財団保持研究)・ 「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、				
- 「随意の旅活動的に発生する皮膚コンダクタンス反応に関する研究」(共著、「武 義野短期大学研究配要)第26 紙 平成 24 年) - 「アルベンスキー用とールフリースラップブレートの開発」(共著、『スキー研究』第11巻、平成 26 年) (教育実験記録等) - 「幼児教育における祖立体機 (stunts pyramid) 指揮に関する研究」(国際幼児教育全会第25 回水会、平成 19 年、『武蔵野短期大学完配 要』第22 輯、平成 20 年) - 「Study of sympathetic nervo activity driven by voluntary motor command using skin conductance response」(日本生理学会第88 回入会、平成 25 年) - 「Inclind - Pole を利用した同転競技トレーニングーShort Pole との比較 - 」 (日本生理学会第88 回入会、平成 25 年) - 「Inclind - Pole を利用した同転競技トレーニングーShort Pole との比較 - 「本学学生の体型とタイエット行動の推移 「武蔵野短期大学研究会、平成 25 年) - 「不学学生の体型とタイエット行動の推移 「武蔵野短期大学研究記要」第28 輯、平成 26 年) - 「水の大きの大き、27 年 1 下 1 下 1 下 1 下 1 下 1 下 1 下 1 下 1 下 1				
## 20				
藤野塩期大学研究起要』第 26 輯、平成 24 年)				
# (デルベンスキー用ヒールフリースラップブレートの開発) (共著、『スキー研究』 第11 巻、平成 26 年) (教育実践記録等)				
・・「アルペンスキー用ヒールフリースラップブレートの開業] (共著、『スキー研究』第11巻、平成 26年)				蔵野短期大学研究紀要』第26輯、平成24
プブレートの開発 (共著、『スキー研究』第 11 巻、平成 26 年) (教育実践記録等) - 「幼児教育における組立体操 (stunts pyrania) 指導に関する研究」 (国際幼児教育学会第 28 回大会、平成 19 年、『武蔵野短期大学完定果』第 22 輯、平成 20 年) - 「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response」 (日本生理学会等 88 回大会、平成 23 年) - 「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニング - Short Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) - 「本学学生の体型とグイエット行動の推移、レーニングーShort Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) - 「本学学生の体型とグイエット行動の推移、「『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輔、平成 26 年) - 「スポーツに対するイメージに関する研究(「『東洋大学現代社会総合研究 所 研究 10 」「東洋大学現代社会総合研究 所 研究 10 「『東洋大学現代社会総合研究 所 研究 10 「『東洋大学現代社会総合研究 所 研究 10 「『東東 新聞 10 日本 1				年)
 完 第 11 巻、平成 26 年) (教育実践記録等) ・「幼児教育における組立体機(stunts pyramid)指導に関する研究」(国際幼児教育学会第 28 同大会、平成 19 年、『武蔵野短財人学完紀要』第 22 輔、平成 20 年) ・「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance responsed (日本生理学会第 88 回入会、平成 23 年) ・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較ー」(日本本まー学会、2016度研究会、平成 25 年) ・「正本学生の体型とダイエット行動の推 移」(『武蔵野短げるイメージに関する研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー No. 8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する 3の 報、平成 28 年) ・「富蔵野短州大学研究紀要』第 30 報、平成 28 年) ・「西学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短州大学研究紀 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短州大学研究紀 28 第 30 報、平成 30 年) その他型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短州大学研究紀 28 第 30 4 東で成 30 年) ・「を学生の体型、体力と健康的な生活と関連を研究』(第 18 音楽 1 下) 指面における臨床心理学的効果に関する場合を表する情報を表する。「一定 1 ままままままままままままままままままままままままままままままままままま				・「アルペンスキー用ヒールフリースラッ
(教育実践記録等) - 「幼児教育における組立体機(stunts pyramid)指導に関する研究」(国際幼児教育学会第 28 同大会、平成 19 年、『武蔵 野短期大学紀紀要』第 22 輔、平成 20 年) - 「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance responses (日本生理学会第 88 回人会、平成 23 年) - 「Inclined - Pole を利用した回転競技 トレーニングーShort Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) - 「本学学生の体型とグイエット行動の推 移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年) - 「本学学生の体型とグイエット行動の推 移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年) - 「本学学生の体型とグイエット行動の推 移」(『武蔵学型規則する研究 (1) (『東洋大学現代社会総合研究 所 研究 コシェクト・ベーパー』 No. 8、平成 29 年) - 「本学中の体型とグイエット行動の推 移り、「東京・中の大社会の研究」(『武蔵野短期大学研究紀要」第 30 輯、平成 29 年) - 「対別の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] - 教員免許状更新講習講師 ・狭山市スボーツ推進審議会委員 ・狭山市名ボーフが推進審議会委員 ・狭山市名ボーフが推進審議会委員 ・狭山市る子育で支援センター パパとあるそぼう会講師 「学術論文」 - 「本語の社会社会) 「学術論文」 「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―』(共著、『人間関係学研究』第 13 章報とサーディを対して、「教育実践記録等) ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―』(共著、『人間関係学研究』第 13 章報 29 章報 20 章報				ププレートの開発」(共著、『スキー研
・「幼児教育に記する組立体操(宝虹町5 内野で記録) (国際幼児教育学会28 回大会、平成19年、『武蔵野短期大学究紀要』第 22 輯、平成 20 年)・「Study of Synathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response」 (日本生理学会第 80 四大会、平成 23 年)・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較中」(日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年)・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輔、平成 26 年)・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト・スポーツに関する研究 (1)」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・スペーパー』No. 8、平成 29 年)・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輔、平成 38 年)・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 輔、平成 30 年)「その他」・教員免許状更新講習講師・禁山市スポーツ推進審議会委員・禁山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師・禁山市スポーツ推進審議会委員・禁山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師(学研教育主義と表表を表表表書)・「指面における随床心理学的効果に関する應望一描画でおける随床が発力・が発力・関係学研究』第 18 巻第 29、中級 24 年)「教育実践記録等)・「指面における随床や研究」第 18 巻第 29、中級 24 年)「教育実践記録等)・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				究』第 11 巻、平成 26 年)
・「幼児教育に記する組立体操(宝虹町5 内野で記録) (国際幼児教育学会28 回大会、平成19年、『武蔵野短期大学究紀要』第 22 輯、平成 20 年)・「Study of Synathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response」 (日本生理学会第 80 四大会、平成 23 年)・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較中」(日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年)・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輔、平成 26 年)・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト・スポーツに関する研究 (1)」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・スペーパー』No. 8、平成 29 年)・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輔、平成 38 年)・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 輔、平成 30 年)「その他」・教員免許状更新講習講師・禁山市スポーツ推進審議会委員・禁山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師・禁山市スポーツ推進審議会委員・禁山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師(学研教育主義と表表を表表表書)・「指面における随床心理学的効果に関する應望一描画でおける随床が発力・が発力・関係学研究』第 18 巻第 29、中級 24 年)「教育実践記録等)・「指面における随床や研究」第 18 巻第 29、中級 24 年)「教育実践記録等)・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
対策に関する研究」 (国際幼児教育学会和変 19年、『武蔵野知男大学究和図 第22 戦、平成 20 年) - 「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response] (日本生理学会第 88 回大会、平成 23 年) - 「Incl lined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較ー」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) - 「「本学学生の体型とダイエット行動の推 移」 (『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 轄、平成 26 年) - 「スポーツに対するイメージに関する研究 (1)」 (『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー』No. 8、平成 29 年) - 「幼児の基本的動作と指導用語に関する 研究」 (『東波蔵野短期大学研究紀要』第 30 轄、平成 28 年) - 「幼児の基本的動作と指導用語に関する 研究」 (『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 轄、平成 30 年) - 「本学学生の体型、体力と健康的な生活 に関する研究」 (『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 轄、平成 30 年) - 「本学学生の体型、体力と健康的な生活 に関する研究」 (『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 轄、平成 30 年) - 「北京歌行」 (『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 轄、平成 30 年) - 「大学校主教会を「全球で支援をレンター パパと あそそぼう会講師 (学術論文) (共変所で) 教育相談 (学術論文) (共変所 第 18 巻第 2.8 平成 24 年) - 「潜言文表表示 (3 内間係等研究』 第 18 巻第 2.8 平成 24 年) - 「教育規談会」 (武蔵野教育 第 1 で学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」 (武蔵野教育				
教育学会第28回大会、平成19年、『武蔵 野短期人学発展]第22 輯、平成20年) ・「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response] (日本生理学会第88回大会、平成23年) ・「Inclined - Pole を利用した円転競技トレーニングーShort Pole との比較ー」(日本スキー学会、2013年度研究会、平成25年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第28輯、平成26年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移』(『武蔵野短期大学研究紀要』第28輯、平成26年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究所研究プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・ペーパー別 No.8、平成29年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第22輯、平成30年) ・「本学学生の体型、体力と健康のな生活に関する研究】(『武蔵野短期大学研究紀要』を変し、映画の格子可で表現となり、「社園保学研究紀要』を表現に対して表現を表現に対して表現を表現に関する原理と描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(武蔵野教育】・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
野短期大学究紀要』第 22 韓、平成 20 年) ・「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response] (日本生理学会第 88 回入会、平成 23 年) ・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) ・「Aで学生の体型とダイエット行動の推 移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究 10 」(『正本大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー』 No. 8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 36 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 36 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』・「学校会とで多議師「学術論と10 での他」、教育名は一次の他)・教育和談目が表示といる際に関する原理・描画で為はまま、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) (教育実践記録等)・「学校支援を行う外部専門家一銘働と相談をともに行う教育和談員」(武蔵野教育				
・「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response] (日本生理学会第 88 回大会、平成 23 年) ・「Inclined ・Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較ー」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推 移」 (『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究 (1)」 (『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー』 No. 8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する 研究 (『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、成助り短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、成助り短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) (『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) (『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) 「その他」 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市本会子育て支援センター パパとあそそぼう会講師 (学術論文) 「その他」 ・教員免許大更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市本合子育て支援センター パパとあそそぼう会講師 (学術論文) 「「提面における臨床心理学的効果に関する展望・描面における臨床心理学的効果に関する展望・指面における臨床心理学的効果に関する展望・指面における臨床心理学的効果に関する展望・計画で満ま、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) (教育実践記録等) ・「特本技能記録等)・「特文支援を行う外部専門家一略働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
activity driven by voluntary motor command using skin conductance responses (日本生理学会第88回大会、平成23年) ・「Inclined。Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較) (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成25年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第28輯、平成26年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究(1)」(『東洋大学現代社会総合研究所 研究プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・ベーパー』No. 8、平成29年) ・「効児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年) ・「対別の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年) ・「本学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32輯、平成30年) (その他) ・教員免許状更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市水が一ツ推進審議会委員・接山市総合子育で支援センター パパと表でぼう会講師 ・ 次山市スポーツ推進審議会委員・接山市は合いでは、「大学の大議を受ける、「大学を大護を行う外前時間であるに内在する身体的自己拡張感の検計ー」(共著、『人間関係学研究』第18巻第2号、平成24年) 「教育其設記録等」・「学校支援を行う外前専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
command using skin conductance response] (日本生理学会第 88 回大会、平成 23 年) ・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推 移」 (『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯 平成 26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究 (1) 」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究 「ロジェクト・ペーパー』 No. 8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する 研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「写成の基本的動作と指導用語に関する 研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「四大の基本的動作と指導用語に関する 研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 30 年) 「その他」 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育て支援センター パパと あそそぼう会講師 「学術論文」 ・「指画における臨床心理学的効果に関する 展望一描画行為に内在する身体的自己拡張の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 「教育践記録等」・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
アロジュ年) ・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較ー」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年)・「スポーツに対するイメージに関する研究(1)」(『東洋大学現代社会総合研究所研究プロジェクト・ペーバー』No. 8、平成 29 年)・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、29 年)・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年)・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 30 年)「その他」・「本学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 50 韓島発許大更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育で支援センターパパとあそそぼう会講師・「学術論文」・「描画における臨床心理学的効果に関する展望一指画行為に内在する身体的自己拡展感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年)「教育銀記録等)・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
平成 23 年) ・「Inclined - Pole を利用した回転競技トレニングーShort Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推 移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯 平成 26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究(1)」(『東洋大学現代社会総合研究所 研究プロジェクト・ペーパー』No. 8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究』(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年 [その他] ・教員免許状更新講習講師・狭山市お舎子育で連審議会委員・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」・「描画における臨床心理学的効果に関する展発・活動に対する場合である。」(学術論文)・「描画における臨床心理学的効果に関する展型・一括画における臨床心理学的効果に関する展型・振動に対する場合に関する展型・振動に対する場合に関する展型・振動に対する場合に関する展別を対する。「学校支援と行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
トレーニングーShort Pole との比較一」 (日本スキー学会、2013 年度研究会、平成25年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第28輯、平成26年)・「スポーツに対するイメージに関する研究所、研究プロジェクト・スポーツの現代的課題 プロジェクト・ペーパー』No.8、平成29年)・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年)・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年)・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32輯、平成30年)(その他)・教員免許状更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」・「措面における臨床心理学的効果に関する展望一措面行為に内在する身体的自己拡張感の検討一」(共著、『人間関係学研究』第18巻第2号、平成24年) 〔教育実践記録等)・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
(日本スキー学会、2013 年度研究会、平成25 年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輔、平成26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究 (1)」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的課題 ブジェクト・ペーパー』No.8、平成29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輔、平成28 年) ・「本学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輔、平成28 年) ・「本学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輔、平成 30 年) 「その他」 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育て支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」 ・「精画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討ー」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 「教育実践記録等) ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				・「Inclined - Pole を利用した回転競技
(日本スキー学会、2013 年度研究会、平成25 年) ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輔、平成26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究(1)」(『東洋大学現代社会総合研究所研究プロジェクト・スポーツの現代的課題プロジェクト・ペーパー』No.8、平成29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輔、平成28 年) ・「本学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輔、平成28 年) ・「本学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輔、平成28 年) ・「本学生の体型、体力と健康の本生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輔、平成28 年) ・「その他」・教員免許状更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育で支援センターババとあそそぼう会講師 「学術論文」 ・「特論文」・「措面における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討一」(共著、『人間関係学研究』第 18 参第 2 号、平成 24 年) 「教育実践記録等)・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				トレーニングーShort Poleとの比較ー」
25年 - 「本学学生の体型とダイエット行動の推移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 報				
移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年) ・「スポーツに対するイメージに関する研究 (1) 」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー』No.8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」・「精画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 参覧 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等] ・「教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
韓、平成 26 年)				・「本学学生の体型とダイエット行動の推
韓、平成 26 年)				移」(『武蔵野短期大学研究紀要』第28
・「スポーツに対するイメージに関する研究 (1)」(『東洋大学現代社会総合研究 所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー』No.8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する 研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員会計状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討一」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				I
(1) 」(『東洋大学現代社会総合研究所 研究プロジェクト スポーツの現代的課題 プロジェクト・ペーパー』No.8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員会計状更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」・「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討一」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
所 研究プロジェクト スポーツの現代的 課題 プロジェクト・ペーパー』No.8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 ・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 ・変」第 32 輯、平成 30 年) 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市にボーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				1 1 2 7 2 7 1
課題 プロジェクト・ペーパー』No.8、平成 29 年) ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師・狭山市スポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育て支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文] ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討ー」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
成29年) - 「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30 輯、平成28年) - 「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32 輯、平成30年) [その他] - 教員免許状更新講習講師 - 狭山市スポーツ推進審議会委員 - 狭山市お合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 修士(心理学) 心身障害児教育 I 心身障害児教育 I 心身障害児教育 I 教育相談 修士(心理学) 小身障害児教育 I 表別 「学術論文] 小身障害児教育 I 表別 「大田における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第18巻第2号、平成24年) [教育実践記録等] - 「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第30輯、平成28年)・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32輯、平成30年) 「その他」・教員免許状更新講習講師・狭山市ポーツ推進審議会委員・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「必身障害児教育 I 、心身障害児教育 I 、心身障害児教育 I 、心身障害児教育 I 、心身障害児教育 I 、心身障害児教育 I (デ術論文)・「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討一」(共著、『人間関係学研究』第18巻第2号、平成24年) 「教育実践記録等〕・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文」 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				794 == 17
報、平成 28 年) ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパと あそそぼう会講師 修士(心理学) 心身障害児教育 I				
・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第32 輯、平成30 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育て支援センター パパと あそそぼう会講師 「学術論文」 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第18 巻第2号、平成24年) [教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀 要』第 32 輯、平成 30 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパと あそそぼう会講師 修士(心理 学) 心身障害児教育 I				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
成瀬雄一修士(心理 学)心身障害児教育 I 心身障害児教育 I 心身障害児教育 I 心身障害児教育 I ・ 「描画における臨床心理学的効果に関する展望一描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
「その他」 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育て支援センター パパと あそそぼう会講師 「学術論文」 ・「描画における臨床心理学的効果に関す る展望一描画行為に内在する身体的自己拡 張感の検討―」(共著、『人間関係学研 究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相 談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパと あそそぼう会講師 「学術論文」 ・「措画における臨床心理学的効果に関す る展望一描画行為に内在する身体的自己拡 張感の検討一」(共著、『人間関係学研 究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家一協働と相 談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
成瀬雄一 修士 (心理 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育で支援センター パパとあそそぼう会講師 「学術論文】 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 「教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				1
成瀬雄一 修士(心理 学) 心身障害児教育 I 心身障害児教育 II 「学術論文」 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
成瀬雄一 修士 (心理 心身障害児教育 I で学術論文 で学術論文 で「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) で学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
成瀬雄一 修士 (心理 学) 心身障害児教育 I (学術論文) ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) [教育実践記録等] ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
学) 心身障害児教育 II				あそそぼう会講師
教育相談 る展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育	成瀬雄一	修士(心理	心身障害児教育I	[学術論文]
張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相 談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育		学)	心身障害児教育Ⅱ	・「描画における臨床心理学的効果に関す
張感の検討―」(共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相 談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育			教育相談	る展望―描画行為に内在する身体的自己拡
究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年) 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相 談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				張感の検討―」(共著、『人間関係学研
「教育実践記録等」 ・ 「学校支援を行う外部専門家一協働と相 談をともに行う教育相談員」 (武蔵野教育				
・「学校支援を行う外部専門家―協働と相 談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
談をともに行う教育相談員」(武蔵野教育				
				別九云、 以

			・「指導に自信を失った初任者教師への行動コンサルテーション」(『日本学校メンタルへルス学会 第15回大会プログラム・抄録集』、平成24年)・「全学校規模における行動コンサルテーション一初任者教師の有用性の向上一」(『日本行動分析学会第30回年次大会発表論文集』、平成24年) 〔その他〕
小山みずえ	博士 (教育学)	教育原理	・狭山市いじめ問題審議・調査委員会委員 「著書」 ・『子育ち・子育て支援学』(共著、保育 出版社、平成23年) ・『近代日本幼稚園教育実践史の研究』 (学術出版会、平成24年) ・『子どもの心によりそう保育・教育課程 論(改訂版)』(共著、福村出版、平成30年) 「学術論文」 ・「明治後期の幼稚園における保育研究の展開 一松本幼稚園における児童心理学の受容を中心に一」(『乳幼児教育学研究』第15号、平成18年) ・「大正期の幼稚園における心理学的視点の導入一神戸幼稚園を事例として一」(『幼児教育史研究』創刊号、平成18年) ・「戦前日本の幼稚園における年中行場のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで
九	修士(文学)	English Writing Advanced English Writing	「学術論文」 ・ "Narrative constructions in Japanese and English: the difference between Japanese and English perspectives," (Colloquia, Vol. 33、平成24年) ・ "Interactive nature of conversation: the "fake" turn-keeping system of lists and its prosody," (Colloquia, Vol. 34、平成25年) ・ 「人工共通語希求の内発性と外発性についての一考察」(『藝文研究』第112号、平成29年) ・ 「社会言語学のトレンドと言語意識」(『Fora』第1号、平成29年) 〔その他〕 ・青山学院高等部英語科 非常勤講師・慶應義塾大学大学院文学研究科研究奨励助教(有期)(平成28~30年)

荒木洋育	博士 (文学)	地域文化事情 8	〔著書〕
		地域文化事情 5	・ 『悪の歴史 西洋編(下)』(共著、
			堀越孝一編 清水書院、平成30年)
			〔学術論文〕
			「『アングロ=ノルマン王国』崩壊期に
			おける国王とクロス=チャネル=バロン
			ズ」(『西洋史学』第 226 号、平成 19 年 3
			月)
			「『アングロ=ノルマン王国』崩壊期の
			イングランド国王財政とクロス=チャネル
			=バロンズ」(『史学雑誌』第 116 巻第 4
			号、平成 19 年 4 月)
			・「ジョン治世初期のイングランド国王行
			政の再評価―軍役代納金の徴収状況から」
			(『歴史学研究』第843号、平成20年8
			月)
			・「1960、70 年代英国の貿易構造の転換と
			ニュージーランド 自立とその代償」
			(『日欧比較文化研究』第 18 号、平成 26
			年10月)
			・「『マグナ=カルタ』を公認した英王ジョンの虚像と実像 プランタジネット家の
			君主として」(『日欧比較文化研究』第19
			号、平成 27 年 10 月)
			・「リチャード1世・ジョン期イングラン
			ドの統治構造と教皇との関係:カンタベリ
			一大司教・行政長官ヒューバート・ウォル
			ターの役割」(『日欧比較文化研究』第21
			号、平成 29 年 10 月)
			・「エリノア・オブ・アキテーヌとリチャ
			ード1世期イングランド統治体制」(『武
			蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第
			15 輯、平成 30 年 3 月)
			・「ジョン期イングランドの統治手法の特
			徴とその問題点:軍役代納金の賦課状況か
			ら」(『日欧比較文化研究』第 22 号、平
			成 30 年 10 月)
			〔教育実践記録等〕
			・「リチャード1世期(1189-99)イング
			ランドの政治過程と行政長官職」(日本西
			洋史学会第60回大会、平成22年5月)
			・「リチャード1世・ジョン期イングランドにおける国王と高位聖職者:カンタベリ
			トにねりる国土と高位聖職者: ガンダヘリ 一大司教叙任問題をめぐって (日本西洋
			史学会第61回大会、平成23年5月)
			(その他)
			・埼玉県立芸術総合高校 特別非常勤講師
梅田紘子	文学修士	英語学概論	[著書]
14 HANNA 4		English Grammar	・「ディスコース・ポライトネス理論の確
		異文化コミュニケーション	立と可能性一大阪のことばの分析より」
			(共著、『ことばの事実をみつめて 言語
			研究の理論と実証』、開拓社、平成 23
			年)
			· 『言語聴覚士国家試験—受験対策実戦講
			座 2017~18 年版』(共著、診断と治療
			社、平成 28 年)
_		15	

			〔教育実践記録等〕
			• "On the Function of Tense in English
			and Japanese"(『武蔵野学院大学大学院 研究紀要』第3輯、平成22年4月)
			・"Hedges and Rising Intonation:
			Politeness Phenomena in English and
			Japanese"(『武蔵野学院大学大学院研究
			紀要』第6輯、平成25年4月)
			・「アイルランド―抵抗の歴史と現状」
			(『日欧比較文化研究』第17号、平成25
			年 10 月)
			・「国際貢献のための日本英語」(『武蔵
			野学院大学日本総合研究所研究紀要』第11
			輯、平成 26 年 3 月)
			・「「積極的」と「消極的」の英語訳―
			『吾輩は猫である』における用例より一」 (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第8
			輯、平成27年3月)
			• "Introducing TOEIC Bridge to
			Musashino Gakuin University:
			Evaluation of the 2014 Results"(共
			著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究
			紀要』第12輯、平成27年3月)
			・「英語仮定法―反事実でない用法につい
			て」(『日欧比較文化研究』第21号、平
			成 29 年 10 月) 〔その他〕
			・「ケルト文化の里帰り―フランス・ブル
			ターニュとスペイン・ガリシア」(『むら
			おさ』第24号、平成28年7月)
			・教員免許状更新講習講師(平成 21 年~
			現在)
大島範子	修士 (文学)	English Reading	[学術論文]
		Advanced English Reading	• "The Severed Ideal Nation; Dualistic
			Monarchism and Monistic Commonwealth
			in Paradise Lost"(『コロキア』第 34 号、平成 25 年)
			々、干成 25 平) ・「劇場閉鎖と教育的エンターテインメン
			ト一護国卿時代におけるウィリアム・ダヴ
			ェナントの自己保存」(『17 世紀英文学研
			究』第17号、平成27年)
			・「貞淑な妻の申し開き――ダヴェナント
			の『ロードス島攻囲』 (1656) における、
			捕囚と変節」(『Shakespeare Journal』
			第4号、平成30年)
			【その他】 日本シェイクスピア協会奨励賞、平成 30
			年
神谷奈緒	M. Ed. /M. A. T.	Communication English Skills 1	[その他]
	(Elementary	Communication English Skills 2	・法政大学、東京経済大学、恵泉女学園大
	Education)	Communication English Skills 3	学 TOEIC 講座担当
	修士(教育	Communication English Skills 4	・東北大学、明治学院大学 TOEFL ITP, iBT
	学)		講座担当
			・京都府教育委員会主催の TOEIC セミナー
	l		担当

			・福井県教育委員会主催異文化コミュニケーションセミナー担当 ・私立星美学園小学校非常勤講師
小口恵巳子	博士(社会科学)	教育社会学	「著書」 ・『親の懲戒権はいかに形成されたか 明治民法編纂過程からみる』(日本経済評論社、平成 21 年) ・「親の懲戒としての「勘当」と「離籍」」(共著、『三行半の世界とその周縁』、日本経済評論社、平成 24 年) ・『現代家族ペディア』(共編、弘文堂、平成 27 年) ・『家庭支援論』(共著、一藝社、平成 30 年) 「学術論文〕 ・「明治民法編纂過程における親の懲戒権 - 名誉維持機能をめぐってー」(『比較家族史研究』第20号、平成18年3月) ・博士論文「明治民法編纂過程における親の懲戒権の研究」(お茶の水女子大学、平成19年3月) ・「旧民法編纂過程における親の懲戒権の生成過程とフランス民法の受容」(『人間科学研究』第4巻、平成20年3月)
清水碧	修士(学術)	韓国語 I 韓国語 II	[学術論文] ・「韓国語の"-게 되다 key toyta"の用法について」(東京大学大学院総合文化研究科修士論文、平成27年12月) [教育実践記録等] ・「韓国語の"-게 되다"の用法について」(朝鮮語研究会第248回研究会、平成28年5月)
瀬尾尚史	Docteur en esthetique et science de l'art (博士・美学芸術学)	フランス語 I フランス語 II	「著書」 ・『La representation du Japon dans le Cinematographe Lumiere』(Atelier National de Reproduction des Theses、平成 26 年) ・『国境を超える現代ヨーロッパ映画 2 5 0 移民・辺境・マイノリティー』(共著、河出書房新社、平成 27 年) [学術論文] ・「アンドレ・バザン再読 ー映像テクノロジーとイデア論ー」(『至誠館大学研究紀要 第 4 巻』、平成 29 年) ・「写真と映画が交錯するとき ーロラン・バルトの映像論をめぐって(『至誠館大学研究紀要 第 5 巻』、平成 30 年)

外池武嗣	教育学士	教師論 教育行政学 教職実践演習(中·高)	「教育実践記録等〕 ・「生徒の学習意欲と授業構築に関する考察」(『武蔵野短期大学研究紀要』第21 輯、平成19年6月) ・「園長の子育てコラムの展開」(『武蔵野短期大学研究紀要』第24 輯、平成22年4月) ・東京都東大和市社会教育委員研究報告書「生き生きした地域づくりに向けて」(平成28年1月) 〔その他〕 ・高等学校長 ・全国地理教育研究会会長、東京都公立高等学校退職校長会副会長(新規採用教員任用前研修担当) ・武蔵野短期大学附属幼稚園園長
高橋良博	文学修士	カウンセリング	・教員免許状更新講習講師 ・東京都東大和市教育委員会社会教育委員 「著書」 ・『人間関係能力育成の研究』(共著、くらすなや書房、平成19年4月) ・『心理咨询与心理督导』(共著、邦題:『カウンセリングとスーパーバイズ』北京、中国原子能出版社、平成25年8月)「学術論文」 ・「中国のこどもの心の問題」(『社会と人文』第5号、平成20年3月)「教育実践記録等〕・「カウンセリングにおける問題解決的アプローチ」(共著、『駒澤大学倫理学論集』第15号、平成25年3月)・「防災教育と子どものこころのケアの現況1」(『駒澤大学心理学論集』第16号、
Jonathan Cherry	Bachelor of Arts in Chinese and Management Studies	Communication English Skills 5 Communication English Skills 6	平成 26 年 3 月) [教育実践記録等] ・"TOEIC Bridge at Musashino Gakuin University: Ongoing Development of the English Program" (共著、『武蔵野学院 大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、 平成 30 年 3 月) [その他] ・シェーン英会話講師(平成 18 年~平成 28 年) ・東京メモリアルクリニック平山英語講師 (平成 16 年~現在)
趙美栄	学士(文学)	韓国語 I 韓国語 II	 (平成 16 年~現在) 〔学術論文〕 ・「The Color Purple における黒人女性知識人 Corrine が抱くジレンマ」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月)

中川太介	修士(政治	中国語コミュニケーション	〔学術論文〕
	修士 (政治 学)	下凹町中ミューケーション	〔字州論又〕 ・「中華民国初期、雲南における塩政改革
	1)		案 産塩を中心に (『東洋学報』第97
			条 <u> 産温を中心に</u>] (『泉仕子報』第 97
			を第2万、千成21 年9万) ・「中華民国北京政府期における雲南の塩
			政改革」(『社会経済史学』第83巻第1
			号、平成29年)
			・「雲南辺境における辛亥革命一非・中心
			としての国家・民族」(修士論文、平成 19
			年3月)
			・「中華民国期の雲南における塩業改革―
			北京政府時期を中心に一」(博士論文、平
			成30年7月)
			〔教育実践記録等〕 「無志」とはないよるななまな。(Towa TT
			・「雲南辺境における辛亥革命」(ISMC 研
			究会、平成 20 年 5 月)
			・「民国期雲南塩井の灶戸と行政」(社会
			経済史学会第80回全国大会、平成23年5 月)
			・「民国期における雲南塩政とその改革に
			ついて―北洋政府期を中心に」(仙人の
			会、平成 26 年 2 月)
			〔その他〕
			・松尾文夫『アメリカと中国』(岩波書
			店、平成 29 年)執筆補助
			・東京大学大学総合教育研究センター「朝
			日講座」の授業補助および画像編集(平成
			25 年 9 月~現在)
			・東洋文庫における『モリソンパンフレッ
			ト』等、所蔵資料のデジタル化作業および
			書誌情報整理(平成23年7月~現在)
			・中国雲南省昆明市雲南大学留学(平成 20
			年~平成 22 年)
			・書評「周婉窈著、石川豪、中西美貴訳
			『図説 台湾の歴史』(平凡社)」(『史
			学雑誌』第 117 巻第 1 号、平成 20 年)
Bonnie. U. Ber	学士(文学)	Oral English	〔教育実践記録等〕
gmann		Advanced Oral English	• "Introducing TOEIC Bridge@ to
		Communication English Skills 1	Musashino Gakuin University:
		Communication English Skills 2	Evaluation of the 2014 Results" (共
		Communication English Skills 3	著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究
		Communication English Skills 4	紀要』第12輯、平成27年3月)
			• "Reassessing TOEIC Bridge Testing
			Initiatives and English Education
			Goals at Musashino Gakuin University"
			(共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所
			研究紀要』第 13 輯、平成 28 年 3 月)
			• "TOEIC Bridge at Musashino Gakuin
			University: Ongoing Development of the
			English Program"(共著、『武蔵野学院
			大学日本総合研究所研究紀要』第14輯、
			平成 29 年 3 月) 〔その他〕
			しての他」 ・めばえ教室非常勤講師(日本人教師との
			・めはえ教室非常期講師(日本人教師との) チームティーチング経験)
			・東野高等学校 ALT 経験
	1	10	不均同守于汉 ALI 程歌

		Luna	I (1) 45
福田直	農学修士	特別活動論	[著書]
			・『土をどう教えるかー新たな環境教育教
			材』上巻・下巻(共著(編集委員長)、古
			今書院、平成 21 年)
			・「『自然の教育』カリキュラム ふれ
			る・感じる・気づく一年少編」、「『自然
			の教育』カリキュラム ふしぎの心をふく
			らませる一年中編」、「『自然の教育』カ
			リキュラムー冒険する・仲間と学びあうー
			年長編」(共著、ひとなる書房、平成 25
			年)
			・『土壌の観察・実験テキストー自然観察
			の森の土壌断面集つきー』(共著、一般社
			団法人日本土壌肥料学会、平成26年)
			〔学術論文〕
			・「2012 年度鳥取大会シンポジウム概要
			『今後、土壌教育をどう進めるか』」(共
			著、日本土壌肥料学会、平成25年)
			・「海外と日本の教科書における土壌記載
			から見た土壌教育の比較検討(1)-日本と
			アメリカの教科書比較一」(『武蔵野学院
			大学研究紀要』第12輯、平成26年)
			・「日本と中国の環境教育の比較分析」
			(『武蔵野学院大学研究紀要』第12輯、
			平成27年)
			・「学習指導要領改訂に向けた学会員の要
			望調査結果の分析と土壌教育への提言」
			(『日本土壌肥料学雑誌』第86巻第5
			号、平成27年)
			・「学習指導要領の次期改訂に向けた「土
			壌教育に関する要望書」の文部科学省への
			提出の背景と経緯」(共著、『日本土壌肥料学雑誌』第86巻第6号、平成27年)
			付子雑誌』 第 60 台第 0 号、平成 27 平) ・「21 世紀型能力の育成におけるフレネ教
			育技法の導入の意義と課題 (『武蔵野学
			『日文仏の等人の思義と味趣』(『氏蔵五子 院大学研究紀要』第13輯、平成28年)
			・「関係諸機関との連携に基づく教育活動
			の構築に関する研究―土壌リテラシーの育
			成に向けた取組一」(『武蔵野学院大学研
			究紀要』第14輯、平成29年)
			・「スーパーサイエンスハイスクールにお
			ける先進的な取組と成果の検証」(『武蔵
			野学院大学研究紀要』第15輯、平成30
			年)
			'
			・「『科学的リテラシー』を高める生物教
			育のあり方に関する研究一第二報一」
			(『武蔵野学院大学研究紀要』第10輯、
			平成 25 年)
			・「学力観の変遷ーナラティブ・アプロー
			チによる21世紀型学力の模索と育成」
			(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀
			要』第10輯、平成25年)
			- ・「学力観の変遷-ナラティブ・アプロー
			チによる科学概念構築を目指す理科授業等
	1	<u> </u>	

	の検討」(『武蔵野学院大学日本総合研究 所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年)
	〔その他〕
	・埼玉県川越高等学校スーパー・サイエン
	ス・ハイスクール推進指導委員長(平成 25
	年~平成 29 年)
	・埼玉県松山高等学校スーパー・サイエン
	ス・ハイスクール推進指導委員(平成 25
	年~現在)
	・日本土壌肥料学会第9部門部門長(平成 26年~現在)
	・教員免許状更新講習講師(平成 22 年~
	平成 29 年)
	・埼玉県豊岡高等学校評議員(平成 28 年 ~現在)
	・埼玉県川越高等学校「川高サイエンス探
	究」事業スーパーバイザー(平成 30 年~ 現在)
	・公開シンポジウム「いま改めて問う、土
	をどう教えるか一土壌教育の再設計と未来
	の学習指導要領―」(講演、日本土壌肥料 学会 2018 年度神奈川大会、平成 30 年)
	・教員免許状更新講習講師
藤井宏尚修士(文学)フランス語]	
フランス語Ⅰ	
	朝日出版社、平成20年)
	・『はじめてのパリ(新・改訂版)』(共
	著、朝日出版社、平成22年)
	・『新・赤い風船』(共著、朝日出版社、
	平成 25 年)
	・『フランスさまざま』(共著、朝日出版
	社、平成 25 年)
	・『キーフレーズで学ぶフランス語』(共
	著、三修社、平成30年)
	[その他] ・NHK 文化センター、東京都千代田区生涯
	学習館フランス語講師
松本多加志 文学士 道徳研究の打	f導法 〔著書〕
	・『新学習指導要領と道徳教育の改善ポイ
	ント』(共著、教育開発研究所、平成 21
	年)
	・『小学校新指導要録対応の絶対評価基準
	表』(共著、明治図書、平成 22 年)
	・『学校管理職のための問題解決Q&A』
	(共著、ぎょうせい、平成 23 年)
	〔教育実践記録等〕 『************************************
	・『地域との連携を図る学校教育の在り方
	について』(『武蔵野短期大学研究紀要』
	第 25 顆、平bk 23 年)
	第 25 輯、平成 23 年) ・『子どもの学びを発展させる保幼小の連
	・『子どもの学びを発展させる保幼小の連 携の在り方について』(『武蔵野短期大学
	・『子どもの学びを発展させる保幼小の連携の在り方について』(『武蔵野短期大学研究紀要』第27輯、平成25年)
	・『子どもの学びを発展させる保幼小の連 携の在り方について』(『武蔵野短期大学

横手尚子	学士(英語英	英語コミュニケーション	〔著書〕
	米文化学)	Public Speaking	・『おもてなし接客英会話テキストブッ
			ク:外国人送迎ドライバー向け接客マナ
			ーの基本と接客英語が学べる』(Amazon
			Kindle 電子書籍、平成 27 年)
			『世界に通じるマナーとコミュニケーシ
			ョンーつながる心、英語は翼』(共著、岩
			波書店、平成29年)
			『ネイリストのためのマナーと接客英会
			話』(共著、IBC パブリッシング、平成 30
			年)
			[その他]
			・日本経済新聞電子版『仕事に役立つおも
			てなし英語連載』(平成 28 年)
			・オンライン予備校学びエイド英語講座
			『高校生から学べるおもてなし接客英語』
			(平成 28 年)
			・オンライン予備校学びエイド英語講座
			『タクシー・ハイヤー業務トラブル対応
			編』(平成 29 年)
			・私教育新聞『グローバル時代の Strategy
			連載』 (平成 30 年)

・教員養成に係るカリキュラム、シラバスなど

認定を受けようとする 学部・学科等	国際コミ ュニケー ション学 部	国際コミュニケーション学科	入学定員 120 名					学位			
			左記	学士(国際コミュニケーション) 左記に対応する開設授業科目							
免許法施行規則に定める 位数	科目及び単			ı	立数						
科目	単位数	授業科目	配当 年次	必修	選択	授業 形態	備考	職位	教員氏名		
日本国憲法	2	現代社会論 1 (日本国憲法を含む)	1 • 2	2		講義		講師	髙田久実		
		スポーツ1	1 . 2		1	実習	2 単	兼任	伴好彦		
体育	2	スポーツ 2	2 · 3		1	実習	位選択	教授	輪嶋直幸		
		スポーツと健康	2 • 3		2	演習	必修	教授	輪嶋直幸		
		英語コミュニケーション	1 • 2		2	演習		兼任	横手尚子		
		中国語コミュニケーション	1 • 2		2	演習		兼任	中川太介		
		中国語 I	1 • 2		2	演習		講師	梁媛淋		
		中国語Ⅱ	1 • 2		2	演習		講師	梁媛淋		
		中国語Ⅲ	2 • 3		2	演習		講師	梁媛淋		
		韓国語 I	1 • 2		2	演習	2 単 位	兼任	清水碧		
外国語コミュニケーショ ン	2	14-12-HJ 1	1 2		- L	12.0	選 択	兼任	趙美栄		
		韓国語Ⅱ	1 • 2		2	演習	必修	兼任	清水碧		
		14-10 HJ II	1 2		- L	12.0		兼任	趙美栄		
		フランス語 I	1 • 2		2	演習		兼任	藤井宏尚		
		/ / / / / III I	1 2		2	(典省		兼任	瀬尾尚史		
		フランス語Ⅱ	1 • 2		2	演習		兼任	藤井宏尚		
			1 2		2	IM EI		兼任	瀬尾尚史		
情報機器の操作	2	情報処理入門	1 • 2	2		演習		講師	角田牧		

[※]シラバスについては『学生便覧』を参照のこと。

①英語(教科に関する科目)

学部・学科等			左記に対応する開設授業科目							
		免許状	免許法施行規 則に定める科		#7 \/\c	単位	立数	松茶	職位	教員氏名
学部	学科等	の種類	目区分	授 業 科 目	年次	必修	選択	· 授業 形態	机风工	秋兵八石
国際コ	国際コミュ	中一種免	英語学	英語学概論	2 • 3	2		講義	兼任	梅田紘子
ミュニ	ニケーショ	(英語)		English Grammar	2 · 3		2	演習	兼任	梅田紘子
ケーシ ョン学	ン学科	高一種免	英米文学	英米文学史	1 • 2	2		講義	教授	佐々木隆
部	英語科コース	(英語)		英書講読	3 • 4		2	演習	教授	佐々木隆
			英語コミュニケ	English Reading	1	2		演習	講師/兼任	髙田久実/大島範子
	1 免許状取		ーション	English Writing	1	2		演習	講師/兼任	林大輔/穐元美咲
	得に必要な			Oral English	1	2		演習	教授	J.Trambley
	最低修得単								兼任	B. U. Bergmann
	位数			Advanced Oral English	1	2		演習	教授	J. Trambley
	教科に関			41 15 11 5 11				74 22	兼任	B. U. Bergmann
	する科目			Advanced English Reading	2 2	2 2		演習	講師/兼任)###// / ##	高田久実/大島範子
	20単位			Advanced English Writing Communication English	1 • 2	2	2	演習演習	推教授/兼任 講師	和田賢治/穐元美咲 林大輔
				Communication English Skills	1		2	演習	教授	J. Trambley
				1	1			IX D	兼任	B. U. Bergmann
									兼任	神谷奈緒
					1		2	演習	教授	J. Trambley
				Communication English Skills					兼任	B. U. Bergmann
				2					兼任	神谷奈緒
					2		2	演習	教授	J.Trambley
									兼任	B. U. Bergmann
				Communication English Skills					兼任	神谷奈緒
				3	2		2	演習	教授	J.Trambley
									兼任	B. U. Bergmann
				0					兼任	神谷奈緒
				Communication English Skills	2		2	演習	兼任	J. B. Cherry
				1	2		2	演習	兼任	J. B. Cherry B. U. Bergmann
					2 · 3		2	演習	兼任	横手尚子
				Communication English Skills	3 • 4		2	演習	兼任	林大輔
				5	$3 \cdot 4$ $3 \cdot 4$		2 2	演習演習	講師 教授	青木雅幸
				Communication English Skills	5 . 4		2	供白	积1文	13.51.35
				6						
				Public Speaking						
				Integrated English						
				英語討論						
				ビジネス英語						
			異文化理解	異文化コミュニケーション	1 • 2	2		講義	兼任	梅田紘子
				国際文化交流	1 • 2		2	講義	教授	佐々木隆
				地域文化事情6	1 • 2		2	講義	准教授	鈴木陽子
				地域文化事情8	3 · 4		2	講義	兼任	荒木洋育
				地域文化事情 5	1 • 2		2	講義	兼任	荒木洋育

※英語コミュニケーション 選択科目より2科目4単位選択必修 ※異文化理解 選択科目より1科目2単位選択必修

②英語科(教科又は教職に関する科目)

学 部・	学 科 等		左記に対応する	開設授	業科目				担	当教員
学部	学科等	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	配当年次		選択	授業形態	備考	職位	教員氏名
国際コミュニケーショ		教科又は 教職に関す	教育社会学	1 • 2		2	講義	「教科又は教 職に関する科	兼任	小口恵巳子
ン学部	ン学科	る科目	国際コミュニケーション	1 • 2		2	3# 34·	目」の選択科目	教授	本多周爾
	英語科コー ス		ボランティア1	2 • 3	2		実習	又は最低修得	教授	輪嶋直幸
	1 免許状取	中8 単位 高16 単位	ボランティア 2	2 · 3		2	実習	単位を超えて 履修した「教科 に関するは「教科」 若関すするで、 につい中6高14 単位以上修得	教授	輪嶋直幸

^{※/}ラバスについては『学生便覧』を参照のこと。

③教職に関する科目

			左記に対応する開設授業科目						
免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目	配当	単位数		授業	職位	教員氏名
科目	各科目に含める必要事項	単位数	327K11F	年次	必修	選 択	形態		
教職の意義 等に関する 科目	・教職の意義及び教員の 役割 ・教員の職務内容(研修、 服務及び身分保障等を含 む。) ・進路選択に資する各種 機会の提供等	2	教職概論教師論	1 • 2	2	2	講義講義	兼任	齋藤英男 外池武嗣
教育の基礎 理論に関す る科目	・教育の理念及び教育に 関する歴史及び思想		教育史 教育原理	2 1 · 2	2	2	講義講義	兼任兼任	野村和小山みずえ
e vari H	・幼児、児童並びに生徒 の心身の発達及び学習の 過程(障害のある幼児、 児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程を含 む。)	6	教育心理学 心身障害児教育 I 心身障害児教育 Ⅱ	1 · 2 2 · 3 3 · 4	2	2 2	講義 講義 講義	兼任兼任	宮本一史 成瀬雄一 成瀬雄一
	・教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項		教育行政学 学級経営論	3 · 4 3	2	2	講義 講義	兼任 教授	外池武嗣 齋藤英男
教育課程及 び指導法に	・教育課程の意義及び編 成の方法		教育課程総論	2	2		講義	兼任	野村和
関する科目	・各教科の指導法	中12	英語科教育法 I 英語科教育法 II 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ	2 2 3 3	2	2 2 2	演習 演習 演習	兼担 兼担 兼担 兼担	佐々木隆 佐々木隆 青木雅幸 J. Trambley
	道徳の指導法	高 6	道徳教育の指導法	2 • 3	2		講義	兼任	松本多加志
	・特別活動の指導法		特別活動論	3	2		講義	兼任	福田直
	・教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活 用を含む。)		教育方法・技術 教育方法	3	2	2	講義 講義	兼担 兼任	青木雅幸 野村和
生徒指導、 教育相談及 び進路指導 等に関する	・生徒指導の理論及び方 法 ・進路指導の理論及び方 法	4	生徒指導論(進路指導を含む)	3			講義	教授	齋藤英男
科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4	カウンセリング 教育相談	2 · 3 3		2 2	講義	兼任	高橋良博成瀬雄一
教育実習		中 5 高 3	教育実習 I 教育実習 II 教育実習Ⅲ	4 4	1 2	2	講義 実習 実習	教授 教授 兼任 教授 兼任	齋藤英男 齋藤英男 西久保栄司 齋藤英男 西久保栄司
教職実践演習		2	教職実践演習(中・高)	4	2		演習	兼任	宮本一史 外池武嗣

※英語科教育法Ⅱ 中1種必修数科法は該当教科の教科法Ⅰは必修教育実習Ⅲは中1種必修※道徳教育の指導法中1種必修シラバスについては『学生便覧』を参照のこと。

※精報科については取り上げをしているが、まだ科目を継続しているため情報科教育法を含めたものを 掲載。

・学生の教員免許状取得状況

免許状種類	平成 29 年 3 月	平成 29 年 9 月	平成 30 年 3 月	平成 30 年 9 月
	卒業	卒業	卒業	卒業
中学教諭1種(英語科)	2名	0名	0名	0名
高校教諭1種(英語科)	2名	0名	0名	0名

・教員への就職状況

免許状種類	平成 29 年 3 月	平成 29 年 9 月	平成 30 年 3 月	平成 30 年 9 月
	卒業	卒業	卒業	卒業
中学教諭1種(英語科)	1名	0名	0名	0名
高校教諭1種(英語科)	0名	0名	0名	0名